


重点取組名	集落営農の推進	
普及活動担当	福島県会津農林事務所会津坂下農業普及所	
主要な活動地域・対象農業者	会津坂下町（新開津・和泉川原）、湯川村（勝常・田中）、柳津町（石神・八坂野）、三島町（大石田・西方）、金山町（藤倉・大志）、昭和村（佐倉・両原）、会津美里町（八木沢・高田中央・馬越・入宗・和泉新田・沢田）	
取組結果・成果 〈取組みのねらい〉	<p>〈取組のねらい〉 集落営農の確立により地域農業の体質強化を図る。</p> <p>〈取組結果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会津みどり地域集落営農推進協議会（平成17年5月24日設立） 会津坂下農業普及所長を議長に、各町村課長、JA営農企画課長及び各総合支店営農課長、各土地改良区事務局長が構成員となり、重点推進集落12集落と推進集落63集落を設定し、集落営農の推進活動計画の作成と進行管理等を行った。 ・モデル集落組織化プロジェクト（会津みどり地域水田農業推進協議会） 平成16年度、17年度のモデル集落18集落を対象として、集落毎に町村・JA・普及所の専任担当者が、農用地利用改善団体の設立をめざして活動した。計5回のプロジェクトでは、毎回、専任アドバイザーの山形大学農学部楠本雅弘教授からアドバイスをいただいた。 <p>〈取組成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農用地利用改善団体数 平成17年度当初、農用地利用改善団体数は10団体だったが、新たに30集落において農用地利用改善団体が設立された（モデル集落18集落のうち17集落で設立）。 ・専任担当者 17年度の支援活動のなかで、専任担当者は農用地利用改善団体設立までの活動に大きな自信が持てた。 	
連携機関、協議会等	会津みどり地域水田農業推進協議会（事務局：JA 会津みどり） 会津みどり地域集落営農推進協議会（事務局：会津坂下農業普及所）	
取組の特徴や取組に際しての工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・モデル集落は会津みどり地域水田農業推進協議会と同じ集落とするとともに、モデル集落組織化プロジェクト活動を通じて、専任アドバイザー（山形大学農学部楠本教授）からのアドバイスにより、町村・JA・普及所の専任担当者がチームとして活動したこと。 ・JAは組合長のリーダーシップのもと、集落営農を推進することを組合員に約束して、組織をあげて取り組んだこと。 	
【参考】		第4回モデル集落営農組織化プロジェクト